



ろう者のための

演劇スタッフワーク基礎講座

演劇ワークショップ

参加者募集

演劇スタッフワーク基礎講座

3月10日(水)



10時～17時(途中休憩あり)

★オンライン版+会場(トット文化館)への参加もできます

★手話通訳・UDトークあり

ご挨拶:江副悟史(日本ろう者劇団代表)

第一部 10時～11時30分

「演劇と『音』」

講師:荒木 まや (舞台音響技術者)

第二部 13時30分～15時

「観劇サポート支援の現状」

講師:廣川 麻子

(NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク理事長)

第三部 15時30分～16時30分

意見交換会

「演劇制作者として大切にしたいこと」

特別ゲスト:清水 言一氏(喜多能楽堂館長)

『能』に手話を取り入れ、積極的な鑑賞支援を進められている喜多能楽堂館長の清水氏をゲストに迎えトークを行います。

★第三部終了後、登壇者、参加者による交流会を行います(参加費無料)

演劇ワークショップ



講師:井崎哲也(日本ろう者劇団顧問)

場所:トット文化館

①「視覚ワークショップ」

3月17日(水)

13時30分～15時

②「サインマウムワークショップ」

3月24日(水)

13時30分～15時

※動きやすい服装でお越しください。また運動靴(室内履き)をご持参ください(更衣室あり)

場 所:トット文化館

〒141-0033

東京都品川区西品川 2-2-16

対象者:ろう・難聴の方

(演劇の経験がない方も可)

演劇に関心ある一般の方も歓迎します。

参加方法:裏面をご覧ください

参加費:無料

荒木 まや (あらき まや)

音楽の音響技術者(PA/SR エンジニア)として職歴を開始するも、様々な要素の総合芸術である演劇・ダンス等に興味が移行し軸足を変更。1997年から2016年まで(株)ス



テージオフィスに所属、「ちょっと変わった」作風のカンパニー/ユニットとの作品製作に多く携わり、現在はフリーランスとしてゆっくり仕事をしている。日本ろう者劇団との関わりは退社後も続いており、20年以上となる。

清水 言一 (しみず げんいち)

世田谷パブリックシアター制作部、フェスティバル/トリーキョー事務局を経て現職。トット基金との協力の手話同時通訳による能楽公演を企画制作。

井崎 哲也 (いざき てつや)

佐賀県出身。東京教育大学付属豊学校卒業。1979年、日本・東京パントマイム研究所でパントマイムを習い、1980年「東京ろう演劇サークル」(1981年に「日本



ろう者劇団)に改称)の設立に参加。1982年よりアメリカ合衆国「ナショナル・シアター・オブ・ザ・デフ」のメンバーとして全米ツアーに1年半参加した後、日本ろう者劇団に復帰。NHK「みんなの手話」に講師として出演した他、1995年日本テレビのドラマ「星の金貨」など手話指導多数。2009年の映画『ゆずり葉・君もまた次のきみへー』出演。現在、「エル・システムコネクト」のスペシャルアドバイザーとして、ろう者の子どもたちの「ホワイトハンドコーラスNIPPON」を指導している。映画「おもいで写真」に靴作り役として出演している。

廣川 麻子 (ひろかわ あさこ)

1994年日本ろう者劇団入団。2009年より1年間ダスキン障害者リーダー育成海外派遣事業第29期生として英国Graeae Theatre Companyにて研修。2012年観劇支援団体



シアター・アクセシビリティ・ネットワーク設立。平成27年度(第66回)芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。2018年より東京大学先端科学技術研究センター当事者研究分野(熊谷研究室)ユーザーリサーチャーとして観劇支援の研究に取り組む。

【お申込み方法】

① FAXでのお申込み

03-3779-0206

⇒QRコードからのお申し込みもできます



② メールでのお申込み

jtd@japan.email.ne.jp

下記お申込みフォームに記載されている内容をご記入のうえ、お申込みください

【お問合せ先】

ご不明なことは

下記にお問い合わせください

① 電話 03-3779-0233

② メール jtd@japan.email.ne.jp

「演劇スタッフワーク基礎講座・演劇ワークショップ」参加申し込み

ふりがな						
お名前						
年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代
障害の有無	ろう者 / 難聴者 / その他の障害(特徴:) / なし					
希望する講座	3月10日(水) 演劇スタッフワーク基礎講座 第一部 / 第二部 / 第三部					
	演劇ワークショップ 3月17日(水) / 3月24日(水)					
FAX番号						
メールアドレス						